

プログラム番号	07014
---------	-------

平成19年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	立命館アジア太平洋大学 経営管理研究科		
②学長名	Monte Cassim (モンテ・カセム)		
③所在地	〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	アドミッションズ・オフィス (国際)	
	担当者氏名	HSIUNG Hann-shiuh	e-mailアドレス apugrad@apu.ac.jp
	電話・FAX番号	電話：0977-78-1119、FAX：0977-78-1121	
⑤ホームページ URL	http://www.apu.ac.jp/graduate/		
⑥大学院在学留学生数	233人 (うち、国費留学生 44人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	革新と創造をもたらす「イノベーションと技術経営」人材育成プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程 (2年間)
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が単数
④実施研究科・専攻	経営管理研究科 経営管理専攻
	(所在地) 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
⑤連携大学・研究科・専攻名	なし
⑥受入れ学生数	10人 (うち研究留学生優先配置人数：5人) (うち日本人学生数：2人)
⑦担当教員数	合計 37人 (うち専任：20人、兼任：2人、非常勤：15人)
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名 経営管理研究科・研究科長
	研究科長名 難波 正憲

3. プログラムの内容】

1. プログラムの概要

- (1) プログラム名：革新と創造をもたらす「イノベーションと技術経営」人材育成プログラム
- (2) プログラムの目的：企業活動の国際化や情報化、技術革新の進展に伴い、企業経営が直面する諸課題も複雑化・多様化しており、日本はもちろん世界中の企業において、企業経営の革新と新たな価値の創造を担う核となる人材の育成がきわめて重要な課題となっています。特に少子高齢化を迎え資源の少ない日本においては、科学技術創造立国がスローガンとして掲げられ、科学技術の成果を適切に新たな製品や市場開拓、経営マネジメントに転換する「イノベーションと技術経営」の視点が重要となっています。また、急速に経済成長と社会の発展が進むアジア太平洋地域の各国においても同様です。このため、本プログラムでは、イノベーションを経営戦略、技術戦略、マーケティング戦略、人材戦略、新市場開拓等の視点から広く学び、分析力や構想力、実践力を有する国際的に通用するイノベーション人材の育成をめざしています。本プログラムの目的は、企業経営の革新と新たな価値の創造を担う核となる人材の育成を「イノベーションと技術経営」の視点から行うものです。

2. プログラムの背景、意義

- ①本プログラムは、企業が求める「イノベーションと技術経営」を担う国際的に通用する人材を育成するものであり、今日の国際的な人材ニーズや社会的要請に積極的に応えるものです。
- ②平成19年5月1日現在、本学大学院には世界47カ国・地域からの留学生が学んでいます（学部も含めると78カ国・地域）。このように世界中からの学生が集う環境は、学生に多様な価値観や異文化理解を育む上でも最適であり、また日本人学生や留学生が共に学ぶことを通じて、世界中の学生たちが相互に人的ネットワークを形成する上でも有効です。
- ③留学生にとって日本語の習得はきわめて負荷がかかる困難なものです。英語であればすでに中等教育や高等教育において一定程度習得している場合が多いと考えられます。そこで、本プログラムについては、全ての授業や研究指導を「英語」のみで実施することにより、言葉の障壁を越えて留学生が入学しやすく学びやすい環境を提供するものであり、日本への留学を志す人々にとって大変魅力あるプログラムとなっています。
- ④日本の大学院教育の国際化を促進するとともに、国際的競争力の強化につながるものです。

3. 内容及び特色

(1) 人材養成の目標

本プログラムの目的は、イノベーションを経営戦略、技術戦略、マーケティング戦略、人材戦略、新市場開拓等の視点から広く学び、分析力や構想力、実践力を有する国際的に通用する「イノベーションと技術経営」人材を養成することです。

(2) 教育・研究の重点

人材養成目標を達成するため、経営管理に関する総合的かつ体系的な知識とスキルを獲得させるとともに、欧米標準型MOT（技術経営）の知識基盤を形成した上で、多様な文化と価値観が混在するアジア企業におけるイノベーションのケーススタディを積極的に取り入れ、アジア太平洋地域の企業が抱える複雑で多様な諸課題や経営課題に創造的に取り組むことのできるイノベーションと技術経営の理論と実践力の形成をはかります。

4. 使用言語

講義、研究指導等はすべて「英語」で行います。また、大学院学生への日常的な履修指導・援助や学生生活のサポートなどについても英語で対応できる職員を多数配置しており、日本語能力の不十分な留学生が安心してキャンパスライフを送ることのできる環境を整えています。

5. 修了後に想定される進路

本プログラム修了後は、経営管理に関する総合的・体系的知識やスキルとともに、イノベーションと技術経営に関する専門性を獲得することができるため、学生は各国のメーカー、商社、金融機関、サービス業など民間企業等の幹部候補生として就職することが想定されます。また、こうした知識・スキルは、民間企業のみならず行政機関や非営利組織等においても有用であるため

、民間以外の多様な機関や業種への進出も考えられます。APUのキャリア・オフィスでは、留学生への丁寧な就職支援を行っており、毎年300社に及ぶ日本の有名企業がキャンパスで説明会や採用試験を行っています。

このことは、日本と世界各国・地域との人的ネットワークの形成に大きな効果をもたらすものであると同時に、日本とアジア太平洋地域の諸外国との国際協力関係の発展に結びつくものです。修了者に対するフォローアップ体制としては、校友会組織やインターネット等を積極的に活用して、本プログラムで形成された人的ネットワークを継続的に活かすことができる仕組みを構築しています。

6. 選考方法

選考は、書類選考（大学院入学資格の確認、学部の成績、英語力、推薦書、研究実績等）および面接によって行い、各国・地域の優秀な学生を受け入れます。詳しくは、APUのホームページをご覧ください。

<イノベーションと技術経営>

1. 科目構成

経営管理専攻は、必須科目、専攻科目、演習科目で構成しています。

科目	単位数
必須科目（MBAコア科目）	18単位
選択科目（専攻科目）	16単位
演習科目	8単位
自由選択	6単位
合計	48単位

2. 開講科目と分野グループ

経営管理専攻は、5つの分野に分かれており、他の分野の科目も選択可能です。

分野	総合経営管理	ファイナンス	マーケティングと国際ビジネス	イノベーションと技術経営	移行経済・経営システム・デザイン
必須科目 (18単位)	計量分析と統計学、マネジリアル・エコノミクス、経営戦略、組織行動、技術経営、財務会計、管理会計、ファイナンス、マーケティング				
選択科目 (自由選択6単位含む) (22単位)	国際政治経済研究、ビジネス法と企業倫理、人材マネジメント、交渉とプレゼンテーション	経営財務、金融リスク管理、金融機関の金融市場、財務管理、投資分析、財務会計研究、管理会計研究	国際経営研究、アジア企業経営研究、マーケティング戦略、マーケティング・リサーチ、製品開発戦略	生産管理、IIT経営、サプライチェーン・マネジメント、技術戦略、起業家精神と新事業	日本経済・経営発展史、ナショナルイノベーション・システム、開発経済、プロジェクト管理、技術開発、アジア太平洋比較経済発展論、持続可能開発、特殊講義
演習科目 (8単位)	マネジメント・セミナーⅠ、マネジメント・セミナーⅡ、論文指導、レポート指導、フィールド・スタディ				

(注) カリキュラムは変更になる場合がありますので、予めご了承ください。